

大草谷津田いきものの里 自然観察会

冬のバードウォッチングを楽しもう！

金子美幸（山武市）

日 時：2023年1月15日（日）10：30～12：00 天気：曇り

参加者：17名（大人12名、子ども5名）

担当指導員：芳我 木下 金子

冬枯れの谷津田はバードウォッチングに最適（のはず・・）。しかし前日の下見は雨、当日も午後からは雨予報の曇天で肌寒く心配しました。それでも参加予定者18名のうち欠席は1名で、3歳から83歳まで、またお一人参加からご夫婦や親子連れなど多様な参加者が元気に集まりました。

【コース】

入口広場（メンバーが揃った順に班ごとに出発）～ 元スギ林の伐採地（双眼鏡の練習）～ めじろんばを右折～ 台地上の茂み（耳をすまして鳥を探す）～ 下ノ畑（下見で見つけたメジロの巣の観察など）～ 階段を降り谷津田へ～ 谷津田全体の観察～ 谷津田中央部で3班揃って鳥合せ～ 現地解散

【観察の方法】

- ・ 大草谷津田の環境から水鳥はほとんど期待できず茂みや樹上の小鳥を探すことが主になるため、まずは耳をすまして鳥の声を聞く、そして姿を肉眼で探す、見つけたら双眼鏡で捉えてみる、というふうに鳥に出会う方法を試しながら進みました。
- ・ 班ごとに担当指導員はスコープを担ぎ、参加者には双眼鏡を貸し出して、バードウォッチンググッズを使ってみる体験をしてもらいました。

【観察した鳥】

キジバト ノスリ コゲラ モズ ハシブトガラス ハシボソガラス シジュウカラ ヤマガラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ or アカハラ ルリビタキ or ジョウビタキ アオジ カワラヒワ（下見） 以上16種

【参加者の感想】

- ・ 初めての双眼鏡に鳥を入れることはできなかったが、この景色の中で様々な鳥の声を聞いてよかった。
- ・ 鳥の可愛い声が聞いて楽しかった。
- ・ 我が家の庭に来る鳥が何の鳥か分かってよかった。

【担当指導員の所感】

- ・ 双眼鏡を前もって環境保全課から貸してもらった。ほとんどの人が持っていなかったので準備できて良かった。
- ・ 鳥の姿が少ないと感じた。バードウォッチングでなくほぼバードヒヤリングだった。
- ・ バードウォッチング初心者が多いので双眼鏡やスコープを覗いてみる体験も貴重だと思った。
- ・ 観察会の写真を撮ることをすっかり忘れてしまったが、全員揃っての鳥合せでは子ども達の発表などもあり和やかな様子だった。



ヒヨドリ